

世界の情勢(アメリカ)Ⅱ

科目ナンバリング ARS-108
【Ⅳ】 選択 2単位

塚本 拓也

1. 授業の概要(ねらい)

本授業では、米国の社会そしてビジネスの基本を学ぶことを目的とする。そのため、米国文化と日本そして欧州文化と比較し考察する手段として、「スポーツ」を活用し分析・考察を行います。「スポーツ」は米国にとって社会の重要なコンテンツであることから、日本そして欧州のスポーツ産業そして文化と比較することで、経済活動としてどのような意味があるのかを理解することを目指す。

2. 授業の到達目標

1. 米国のスポーツ文化・ビジネスの基本知識を身につける。
2. 米国にとって「スポーツ」はどのような位置付けかを理解する。

3. 成績評価の方法および基準

プレゼンテーション: 期中に2回のプレゼンテーション 50点(25点×2回)
期末試験: 50点
以上を総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

指定しない

参考文献

TIASアソシエーション(編) 国際スポーツ組織で働く!世界の最先端スポーツ大学院でマネジメントを学ぶ 日経BP社
ジャン・ルー・シャブレ&原田宗彦 オリンピックマネジメント 大修館書店
海老塚修 マーケティング視点のスポーツ戦略 創文企画

5. 準備学修の内容

米国、そして日本と欧州に関する「スポーツビジネス」や「スポーツ文化」などの情報に関心を持つことを推奨します。

6. その他履修上の注意事項

本授業を通して、卒業後、企業で働くには、どのような「思考の軸」を持つべきか、どのような準備が必要なのか、一緒に考えたいと思います。そのため、学生諸君からも積極的な発言&相談を期待しています。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス、授業の進め方、評価方法、留意点
- 【第2回】 前期の振り返り
- 【第3回】 オリンピックのマネジメント①
・オリンピックの歴史、オリンピックの収入とコスト、オリンピックレガシーなどを学習する。
- 【第4回】 オリンピックのマネジメント②
・米国とオリンピックの歴史、2028年ロサンゼルス大会に向けた取組などを学習する。
- 【第5回】 ワールドカップのマネジメント①
・ワールドカップの歴史、ワールドカップの収入とコスト、インパクトなどを学習する。
- 【第6回】 ワールドカップのマネジメント②
・米国とワールドカップの歴史、2026年FIFAワールドカップ(米国・カナダ・メキシコ共催)の現状と課題について学習する。
- 【第7回】 オリンピックとワールドカップの振り返りと課題の発表
- 【第8回】 学生によるプレゼンテーション①
- 【第9回】 IMGアカデミー
・グローバルスポーツ教育について学習する。その他、世界のスポーツアカデミーと比較し、グローバルスポーツ人材の育成について議論する。
ケーススタディ(オンライン)
- 【第10回】 ケーススタディ(オンライン)
- 【第11回】 米国のスポーツ用品メーカー: ナイキ・アンダーアーマ
・企業分析、財務分析、経営戦略などを学習する。
- 【第12回】 世界のスポーツ用品メーカー: アディダス・プーマ・アシックス
・企業分析、財務分析、経営戦略などを学習し、米国のスポーツ用品メーカーと比較し、議論する。
- 【第13回】 世界のスポーツ用品メーカーの振り返りと課題の発表
- 【第14回】 学生によるプレゼンテーション②
- 【第15回】 総括